


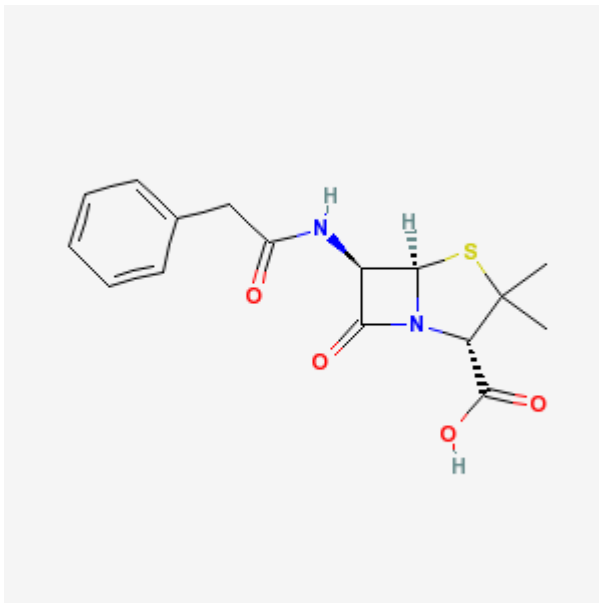
ペニシリン

Penicillin G

ペニシリンの誘導体で、感染症の治療にはナトリウム塩かカリウム塩のものが用いられる。グラム陽性菌の多くとグラム陰性球菌に効果がある。γアミノブチル酸(GABA)が媒体となるシナプス間伝達に対する効果があるため、経験的にけいれん薬としても用いられてきた。


1928年、フレミングはPenicilliumカビがバクテリア感染を回避することを発見した。その後の研究で、このカビがペニシリンを生産して培地を覆い、バクテリアを殺していることが分かった。

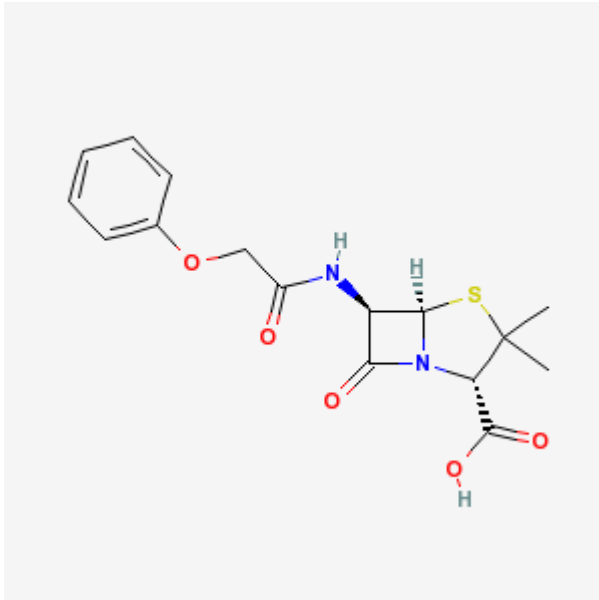
Name	penicillin G
	Benzylpenicillin
MeSH	 68010400
Molecular Weight	334.39012 g/mol
Molecular Formula	C ₁₆ H ₁₈ N ₂ O ₄ S
XLogP	1.5



Penicillin V

広い効果範囲をもつペニシリンで、グラム陽性菌による感染に対する穏和な治療の際に経口投与される。

Name	Penicillin V
	Beromycin
MeSH	 10404
Molecular Weight	350.38952 g/mol
Molecular Formula	C ₁₆ H ₁₈ N ₂ O ₅ S
XLogP	1.4



耐性遺伝子

- [ラクタマーゼ](#)
- [IPR001466](#) - Interproエントリ(タンパク質ファミリー)

リンク

- [抗生物質](#)
- [ストレプトマイシン](#)
- [ペニシリン結合タンパク質](#)
- [Penicillin](#)

Wikipedia

[ペニシリン](#)

[抗生物質](#), [化学構造](#)

From:
<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:
<https://bio.edu-wiki.org/%E3%83%9A%E3%83%8B%E3%82%B7%E3%83%AA%E3%83%B3>

Last update: 2013/06/09 18:08

